



森のなかま

2021年 6月号

NO. 156 (継続301号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

会報「森のなかま」300号に寄せて

(記 黒川 敏史^④ 広報部)

かながわ森林インストラクターの会 会報「森のなかま」が継続（会の発足時からの継続番号）300号を迎えました。NPO法人になってからの会報番号は、No.155です。諸先輩方の努力の結晶として、毎月発行を25年にわたり継続（途中途切れたのは、昨年のコロナ禍による活動休止に伴う4号だけ）してきたことは、素晴らしいことだと思います。

コロナ禍での巣ごもりで時間ができたので、ホームページの会報バックナンバーを気の向くまま、ひもといってみました。ホームページには、2008年にNPO法人になってからのNo.1(継続146号 左図)から掲載されています。

当時の紙面には、最近の号と同様、会のイベント・活動などの紹介や短信と、それ以外に会員からの寄稿が数多く掲載されています。例を挙げると、

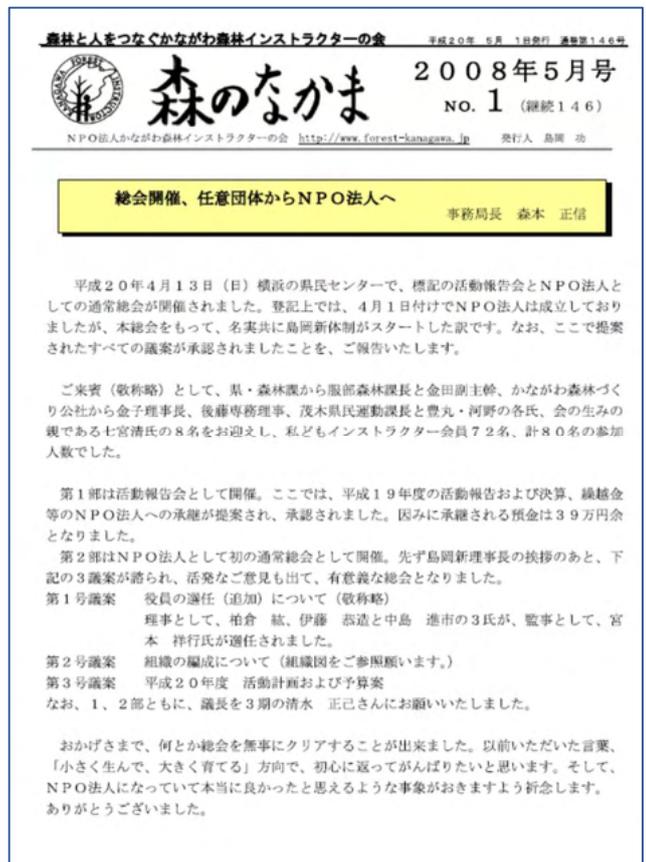
- 高橋 恒通氏による 野鳥に関する連載「私の認識」
10年にわたり、ほぼ毎月120回まで執筆いただきました。
- 有田 保彰氏による 「山菜を楽しむ」12回連載
- 飯村 武氏による 山に関する投稿 随時

その他、連載、単発の投稿また、本の紹介記事もたくさんいただいています。現在は、

- 谷田貝 光克氏による「森のめぐみ」シリーズ
隔月で掲載中、今月は第39回になります。

以上のように、数多くの投稿によって、「森のなかま」が支えられてきたことがお分かりいただけると思います。

広報部では、皆さまからの投稿をいつでもお受けしておりますので、奮って執筆いただきたく、よろしく願いいたします。



年間イベントの紹介

ここ2年程コロナ禍で森林インストラクター参加のイベントが行われておらず、最近インストラクターになった方は、一度も参加できずにいるイベントもあるかと思えます。主なものを紹介します。

- ・成長の森 植樹会 3月に300人程度の植樹参加者を、インストラクター約25人で受け入れます。
- ・相模原クレマチスフェア5月、横浜開港祭6月、かわさき市民祭り11月 ブースを出し、2日間または3日間、一日当たり約15人のインストラクターが、クラフト、丸太切りなどの指導を行います。
- ・やどりき水源林まつり8月 前日準備とあわせ100人を超えるインストラクターが、水源林の案内、自然観察、クラフトなどで300~500名のお客様を迎えます。再開を楽しみに待ちましょう。

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

草木の色は草木染めとして衣類を染めるのに使われてきましたが、食品を着色するのにも使われています。食品には風味や外観を良くしたり、食を誘うような香りを付与したり、食品の酸化、腐敗を防止して保存性を良くしたり、食品の製造を容易にするために加工中に加えられたりするものなど、食品原料に添加物が使用されることがあります。着色料もその一つです。食品原料の自然の状態の色は長い間に色あせることも多く、そこで加工段階で見た目が美しく食欲をそそるような色が添加されます。着色料には化学的合成品もありますが、化学的合成品以外のもの、すなわち草木からの天然色素も数多く使われています。

身近なものでは梅干しの赤色はシソの葉のアントシアニンで着色されますし、きんとんやたくあん漬の黄色はクチナシの実に含まれるカロテノイドの1種クロセチンによっています。

ドロップやビスケットなどの菓子類、羊羹、つくだ煮、ソースの褐色の着色にはカカオの種子が使われ、フラボノイドが発色のもとになっています。



クチナシ(梔子)の実

カレー粉やシロップ漬の黄色はショウガの仲間のウコンの根茎の色によるものです。たくあん、チーズやバターの色づけにも使われます。ウコンは健胃や止血の薬用にも用いられていますが、クルクミンというポリフェノールの1種の黄色色素が含まれているほ

か、高脂血症に効果のある α -クルクメンや抗がん作用に効果のあるクルクモールなどの精油成分が含まれています。

赤キャベツの葉の赤ないしは紫赤色はアントシアニンによるものですが、ゼリーやアイスクリームなどの色付けに使われます。

アヤメの仲間であらゆる色を咲かせるサ

第39回 食品を着色する
天然色素

東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏

フランは園芸用にも利用されていますが、その暗赤色のめしべはクチナシにも含まれているクロセチンという黄色の色素を有し、食品の黄色の色付けに使われます。サフランのめしべは鎮静や婦人用の民間薬としても用いられています。花の中からめしべを摘んで利用するサフランの染料は天然染料の中では最も高価なものの一つです。

野原や田畑の道端に生えて身近なヨモギは、春の若葉を摘んで草餅に入れて緑の色を付けるのに使われてきました。もちぐさとも呼ばれるヨモギは葉に特有の香りを持ち、古代から食用植物、薬用植物として用いられてきました。葉の精油成分は皮膚を適度に刺激して保温効果を高め、腰痛や冷えに効果があります。葉の裏毛からはもぐさが作られます。

バターやチーズなどの食品の着色に使われるものにベニノキという木があります。ベニノキはブラジル原産の落葉灌木で、熱帯地方で植栽されていますが、その果皮は赤橙色で、これからアナトーという色素が抽出されます。アナトーにはカロテノイドの1種のビキシンという色素が70~80%も含まれ、黄色~黄橙色の発色のもとになっています。アナトーは食品用に用いられるほか、口紅などの化粧品の着色にも用いられます。

草木染めに利用されるベニバナに含まれるフラボノイド配糖体のカルタミンという赤色色素もわが国では古くから和菓子や口紅などの化粧品に利用されてきました。

食品を着色するのに利用されるいくつかの植物性色素をご紹介しましたが、ほかにも数多くのものが利用され、食品に彩りを添えて風味をひきたてています。パブリカの橙黄~赤色、アブラヤシの果実から得られるパーム油の黄~橙色、アカネの黄~赤色、ムラサキトウモロコシの赤紫色、エゾイチゴの赤~暗赤色、ブドウの赤~藍色、ハイビスカスの赤~紫色、ムラサキ芋の紫赤色、タマネギの褐色~赤褐色、シタンの紫赤色、タマリンドの赤褐色、サトウダイコンの赤色、ニンジン黄~赤色、トマトの黄~赤色、紫根の赤~赤紫色、などもその例です。

(イラスト) 広報部 加藤 優美 ⑮

活動短信

今回の掲載はR3年4月16日分です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

6月(水無月)(旧暦5月皐月)の

二十四節気と七十二候

芒種 6/5 頃

カマキリが孵り、ホタルが飛ぶころ。梅の実が黄色く色づく

夏至 5/21 頃

アヤメが咲き、半夏生が出るころ、ウツボグサの花が黒ずむ

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ避けてください。改行等の処理に手間を要しますので写真もあれば添付ください。)

◆ 活動団体・活動名 等

日付(できれば時間と天気も)

場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参加者 人数

例 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

インストラクター① (○数字:期) 研修修梓

以下、本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者名もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 株式会社 鈴廣蒲鉾本店 新入社員研

日 令和3年4月16日(金)11:00~14:00 曇り

場 松田町 やどりき水源林

参 25名(大人25名)

県 神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

末広様、林様、佐藤様

L牧石⑭ 西出⑫ 松石⑬ 堀口⑯

4月16日(金)株式会社 鈴廣蒲鉾本店様の新入社員研修をやどりき水源林で実施しました。現状やどりき水源林で間伐活動が行える場所が少ないため、今回は林内整備活動を行いました。11:00やどりき水源林ゲート前で参加者25名をお迎えした後、用具倉庫前まで移動。3班に班分けを行い、インストラクター紹介、準備体操、用具を装着し「恵水の森」看板前に移動開始、林道の移動中では「新緑の水源林で見られる植物と草木」の観察を実施。

記念写真撮影前に看板周囲の枝払い実施後、参加者全員で記念写真撮影を行いました。

林内整備は、枝の片づけ、倒木の片づけ、伐り株の切り戻しを実施。枝の片づけでは、見事なカントリーヘッジが出来上がり、記念撮影も行われました。倒木は玉切り作業を行ってから片づけを実施。切り株の切り戻しは交代で作業を実施。森林講話はインストラクターの得意分野の講話が行われ、参加者が熱心に聞かれていました。参加された皆様、お疲れ様でした。



「恵水の森」看板を囲んで記念撮影



完成したカントリーヘッジ

(記 写真 牧石 稔⑭)

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。

かながわの水環境の
保全・再生をめざして

<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会の

ホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>



かながわ森林インストラクターの会は「緑の募金」の支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

やどりき水源林ミニガイド

森のなかまは過去号もご覧になれます。

(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>

(HP担当：井出恒夫)

「森の案内人」

森の案内人を再開しています。水源林にお出かけください。

「やどりき水源林ニュース」

やどりき水源林ニュース 185号 2021年5月 1ページ

やどりき水源林ニュース

発行(印刷) かながわトラストみどり財団 編集 認定NPO法人かながわ森林インストラクターの会
発行(印刷) かながわトラストみどり財団 編集 認定NPO法人かながわ森林インストラクターの会
発行(印刷) かながわトラストみどり財団 編集 認定NPO法人かながわ森林インストラクターの会

リフレッシュは新緑の水源林へ

やどりき水源林に到着し、まず森を見上げると緑々によってさまざまな色合いの緑が目に届いてきます。さらに目を下ろすと新緑の森が目に届く。新緑の森は、まるで「わたしの家」のようなところ。「森は癒しの場所。リフレッシュしてね」といって待っているように、不思議な気持ちになってしまいます。ぜひ水源林で目のストレスを解消してみてください。



<http://www.forest-kanagawa.jp/4field/news/news185.pdf>
5月号が発行されました。

新緑の水源林です。

●問合せ:

(公財)かながわトラストみどり財団

TEL: 045-412-2255

FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

E-mail: midori@ktm.or.jp

6月5日(土)

「やどりきの森へ行こう」開催

～緑したたる森で癒やし体験～

是非参加ください

<申込先> (認定NPO 法人)

かながわ森林インストラクターの会

E-mail: k-inst0981@friend.ocn.ne.jp

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会

宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

黒川 敏史

Mail:

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

Tel: 080-5477-2206

<電子配信会員向け担当> 笠原

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com

<電子配信企業等パートナー向け担当>

柳澤 Mail: cherril@gk9.so-net.ne.jp

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】黒川 敏史

Fax: 0467-46-8650

電話連絡先: 080-5477-2206

Mail:

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊】阿藤 寿孝

Tel: 045-433-4413

Mail: hisa-ato2@22.netyou.jp

原稿は随時受け付けています。

編集後記

★寒い、温かい、良い気候、なんて言ってるうちに、梅雨入りです。

なんか、子供のころのシトシト雨の梅雨とは異なり、最近のは、ザーっと風雨が強く、「風情ある梅雨」ではなくなってしまいましたね。

前線が通過する春と秋とで、同じ景色になってしまっている。地球温暖化の現象ですよ。

(吉田)

★月初め、二年ぶりに腰痛が再発して、やどりきやひじりの森の整備をドタキャン。ご迷惑を掛けてしまいました。ウォーキングで痛みを押さえ込んでいたのに、忙しさにかまけてサボっていたのが原因だと分析(?)し、やたら歩き回る日々です。

すると、閉店になった店舗が目につきます。日本社会は確実に衰退しているのが分かり、胸が塞がれる思いです。

(竹内)

★新型コロナワクチン接種の予約通知が横浜市から来ましたが、全く予約できません。電話はつながらない、WEBもあいていない。民間も予約時間がきたので3秒遅れで電話したらこれもダメ。

もっとお歳の人でも予約できない状態。それなのに予約案内は年齢が下がった人達にもドンドン発行している。

また、家電販売店の一部には年寄をサポートするといって参入、一般人にはますます、取れない。カオスを生むだけです。故郷を捨てて都会を選んだ自分を恨みます。(松本)

★横浜市で新型コロナワクチンの接種予約が開始されました。はじめはまあ落ち着いてゆっくりやればいいやなんて・・

いざ予約が開始されるとネット、電話つながらないし頑張っちゃいました。無事予約はとれました。(阿藤)

★行方をくらませたニシキヘビが見つかって良かったですね。一番可哀想だったのはヘビだと思いません。

昔、家の屋根裏にアオダイショウが住んでいたのですが、たまに明け方になると這っている音がしました。不思議と怖くありません。(笠原)

★PCR検査もコロナワクチンも遺伝子内分子の配列の話で、素人にはよくわかりません。農作物も遺伝子組み換え、ゲノム編集だそう、これが、凶と出る事はないのかは神のみぞ知る? 神の範疇を超えているのか? (黒川)

編集人: 黒川 敏史

広報部: 吉田郁夫 松本保 笠原かずみ

加藤優美 阿藤寿孝 竹内明彦

柳澤千恵美 小林照夫

武田昭典 中澤良夫

支援: 大原正志 江頭淑子